

平成22年11月25日

朝日新聞 秋田県版

音声は、プライバシーに配慮して電子音に変えることもできる



ぴっくあっぷ

寝たきりのお年寄りなどのおむつ替えを、いち早く知らせてくれる便利なアイテムがある。

秋田市手形の電子機器設計会社「秋田テクノデザイン」が開発した、検知システム「おしりカイトキ」だ。

必要なのは、手のひらサイズの送信機と受信機、そして長さ55センチ、厚さ0.05センチの使い捨てセンサー。おむつに重ねた尿取りパットにセンサーをはりつけ、先端を送信機に差し込み、下着に取り付ける。センサーが排泄を検知すると、受信機に個

「秋田テクノデザイン」(秋田市)

持ち運べる「おむつコール」

人の番号が表示され、「交換お願いします」と、音声流れる仕組みだ。受信機が1台あれば、15人分を判別できる。

従来品だと、受信機が壁に固定されているものもあるが、「おしりカイトキ」なら持ち運びができる。また、受信できる範囲が約100メートルと広いことも魅力だ。

開発のきっかけは、介護サービスを受けていた同社の伊藤毅社長(52)の母親が、昨年亡くなったこと。調べる中で、決まった時間だけおむつ交換をする施

設があることを知った。そこで一人ひとりに対応できるシステムを思いつき、今年4月に製品化した。

伊藤社長は「清潔さが保たれるし、おむつ費用が抑えられる。個別ケアができるので、介護する人の時間にゆとりができます」と話している。

センサーは1枚40円で50枚セットになっている。送信機は1万8千円、受信機は2万円、レンタルもできる。問い合わせは同社(018-853-4215)へ。(加地ゆづき)